

令和8年度～令和17年度  
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

# 本島北部

策定主体：本島北部地区さとうきび増産プロジェクト会議

## 地域において目指す姿

沖縄本島北部地域においては、地域計画と連動した遊休地の解消や農地の流動化により、経営規模の拡大を志向する農業者に対し、農地中間管理機構等の活用による利用集積を図ること、また、地域の単収向上による生産の回復を図り、増産を目指していく。北部地域の圃場では、肥沃度の低い国頭マージが多く分布することから、堆肥や緑肥などの有機物の継続的投入による土づくりを推進しつつ、新品種をはじめ地域に適する品種の導入、効率的な植付方法の普及などを推進する。特に、地域の主要な作型である、株出し栽培での単収向上を目指し、効果的な株出し管理技術の普及、定着を図りつつ、より持続的な生産につなげる機械化一貫体系を推進する。

さとうきび増産を図るためには、農家をはじめ関係機関が一体となる生産体制を構築することが重要であることから、関係機関連携による目標達成の取り組みも推進する。

### 方向性

- ・農地は、地域計画と農業者の志向を踏まえた持続的生産に向け、効率的、効果的整備や利用を図る。
- ・単収向上することにより所得を向上し、儲かる農業にすることで、さとうきびの増産や担い手の育成を図る。
- ・栽培技術においては、機械化一貫体系の活用と、地域に適する多収品種、効果的な肥培管理により、収量向上に繋げる。
- ・展示圃等の実施により、効率的な栽培管理の周知を行い、農家意識の向上を推進する。
- ・作業受委託体制の拡充のため、必要となる作業機械の整備とオペレータの育成を図る。

増産計画目標

(1) 生産目標

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
R6年産策定時	44	109	532	685	6.0	4.1	4.4	4.4	2,598	4,503	23,252	30,353	
R8年産	目標	44	107	535	686	6.0	4.1	4.4	4.5	2,640	4,387	23,540	30,567
R9年産	目標	45	103	538	686	6.0	4.1	4.4	4.5	2,700	4,223	23,672	30,595
R10年産	目標	50	101	540	691	6.2	4.2	4.5	4.6	3,100	4,242	24,300	31,642
R17年産	目標	94	101	545	740	6.7	4.4	4.8	5.0	6,294	4,483	26,223	37,000

(2) 担い手育成目標

	区分	認定農業者		
		認定農業者	受託組織	大規模生産農家
R6年度策定時		12	11	21
R8年度	目標	13	11	21
R9年度	目標	13	12	21
R10年度	目標	14	12	21
R17年度	目標	17	16	21

(3) その他地域で独自に設定する目標

		-	-	-	-
R7年度策定時		-	-	-	-
R8年度	目標	-	-	-	-
R9年度	目標	-	-	-	-
R10年度	目標	-	-	-	-
R17年度	目標	-	-	-	-

#### (4) 分析と評価

##### ① 2期計画で挙げた課題

- ・過疎化や農家の高齢化によるさとうきび担い手農家が減少
- ・国頭マージが広く分布しており、地力が乏しく堆肥等有機物や土壌改良資材の投入が必要
- ・山間地で傾斜地が多く、未整備な圃場では機械化推進のための圃場整備が必要
- ・狭隘な圃場が多く、農地の整備や集積が進んでいない
- ・国頭マージは耕土が浅く干ばつ被害を受けやすいが、圃場において灌水施設の整備が十分ではない
- ・イノシシやメイチュウ類、シロスジオサゾウムシ等の被害が増加している
- ・ハーベスタ収穫の増加により欠株が増加し、低単収の要因になっている。
- ・担い手農家の労働力不足のため、収穫期における株出し管理機のオペレーターが不足し、管理作業に遅れが生じている
- ・近年の気象災害による低単収が続いており、所得が減少し、再生産にかかる経費が捻出できない場合もある

##### ② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

- ・ハーベスタ以外の農作業オペレータの育成、受託体制の整備を図る
- ・堆肥の確保とマニュアルスプレッター等散布作業について効率的な作業の推進
- ・機械化に即した農地の集積・流動化を加速し、圃場整備を推進する
- ・干ばつ時にかん水ができるように畑地灌漑施設や水源確保の整備、かん水機材等の整備、効率的なかん水作業の実施、水資源情報の共有化
- ・メイチュウ類の防除の徹底や、シロスジオサゾウムシ防除技術開発への協力
- ・イノシシ等獣害被害対策の侵入防止柵や捕獲わな設置の推進
- ・生育初期の土壌処理除草剤の利用による雑草対策の徹底、生産経費を抑え単収向上を図る指導の強化

##### ③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

(改善した課題)

- ・イノシシ等獣害被害対策の侵入防止柵設置区域の拡大や、捕獲わな増設等の駆除活動の推進
- ・農業用水の整備、かんがい施設の整備、計画的な生産基盤の整備
- ・バガスなどを原料とした堆肥の利用促進

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

- ・担い手農家の減少と生産面積の減少（高齢化や過疎化による労働力減少で低収となりやすく、耕作条件不利地では遊休化してしまう）
- ・農作業受託組織やオペレーターの不足（これまで受託作業を担っていた受託者も多くは高齢化してきている）
- ・堆肥の効率的利用（新植の割合も減少しており、堆肥等有機物投入の機会が限定的）
- ・イノシシ害対策（未整備または対策が十分でない圃場での被害、個体数の増加や生育エリア拡大など、獣害被害が広がっている）
- ・株出し管理、害虫、雑草防除対策（収穫以外の農作業受委託体制の不足、低収による経費の不足）
- ・農地の集約（狭隘な圃場は高齢化や過疎化で圃場整備が進まず、耕作条件不利なため遊休化）

⑤ 新たに生じた課題

- ・ハーベスタ老朽化への対応と、受益地区制限を踏まえた計画的更新が必要、本島北部地域全体での収穫と植付け管理の受委託体制の検討が必要
- ・収穫期と重なる株出管理や植付けに従事するオペレーターが不足し、株出し管理作業や植付けに遅れがみられ、低収の原因となっている
- ・ツル性やイネ科などの難防除雑草の顕在化

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

沖縄県北部地区のさとうきび生産は、高齢化や担い手不足の影響により収穫面積が減少している。生産基盤に関しては、酸性の国頭マージが広く分布しており地力が乏しいことから、堆肥などの有機物や土壌改良剤の継続的投入が重要である。作型では株出しの割合が多い、労働力などの問題で新植が難しい状況となっているため、更新が進まず低単収の株出しが増えている。植付け及び肥培管理作業のための受託組織やオペレーターも不足しており、収穫後の管理も不十分である。今後は、地域に適する新品種の導入を行いつつ、有機物の継続的投入を行うことで地力の増進を図り、植付け更新や株出し管理など必要な時期に作業が実施可能となる組織やオペレーターの育成、スマート農業機器の導入を行うこと等により生産性向上を図る必要がある。

(5) 地域重点事項（地域独自で取り組んでいる重点事項を記載）

- ・さとうきび増産体制フォローアップ会議
- ・ビレットプランタ、スマート農業実演会・種苗供給対策
- ・さとうきび品種展示
- ・除草剤展示圃
- ・堆肥投入補助事業、展示圃・収穫機械オペレーター研修

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論するべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

**1 経営基盤の強化**

- 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
- 農業共済制度への加入促進

**2 生産基盤の強化**

- 気象災害に強い生産基盤の整備
- 機械化一貫体系の確立
- 地力の増進

**3 技術対策**

- 病虫害防除
- 台風・干ばつ対策
- 優良品種の選択・普及

**4 その他（自由記述）**

  
  

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

## 目標達成に向けた取組計画

### I 経営基盤の強化

#### ① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

##### 【現状】

- ・ 地形的にも山間地で傾斜地が多く、農地の整備や集積が進んでいない
- ・ さとうきび栽培農家の減少と栽培面積が減少している。
- ・ 農家の高齢化による管理不足の発生と気象災害等による低単収により、再生産への経費がまかなえない
- ・ 収穫作業の機械化は90%程度がハーベスタ収穫となり、ハーベスタ収穫体系は進んだ。
- ・ 植付けや管理などの農作業受委託はオペレータ不足のためあまり進んでいない。
- ・ 農業機械士育成として毎年農業機械士を3～5名育成しているが、受託オペレータを志向する機械士は少数。
- ・ 作業受委託については、さとうきび生産組合で農家からの委託作業を受け付け、受託者へ斡旋している場合や、地域内における農家と受託者間の相対で行われている。

##### 【生産者数、収穫面積、1戸当たりの栽培面積の推移】

	H27	R元	R6
農家戸数	1481	1091	825
収穫面積 (ha)	999	762	685
1戸当たり収穫面積 (ha)	0.67	0.70	0.83

### 【課題】

- ・単収が低く、条件が不利な未整備ほ場等では、管理作業の委託が難しいこともあり、高齢農業者となり収穫作業が不能となると、ほ場が遊休化しやすい。
- ・収穫以外の作業受託組織が少ない。生産法人も請負や自己の収穫作業が中心となるため、受託先やオペレータも不足し、肥培管理作業が遅れてしまう。
- ・これまで受託作業を担ってきた受託業者も、多くは高齢化してきている。
- ・多くの高齢な農業者では、新たな農地整備や共同利用農業機械導入については消極的である。

### 【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・受託組織への作業の斡旋等（さとうきび生産組合、地区さとうきび協議会）
- ・耕作放棄地解消関連事業の活用（市町村、製糖工場）
- ・離農や規模の縮小と農地拡大志向農家の情報把握（市町村、農地中間管理機構、地区さとうきび協議会）
- ・新規農業参入者・後継者育成（普及、市町村、地区さとうきび協議会）
- ・オペレータ研修、農業機械士養成研修、各種農業機器実演会（地区さとうきび協議会、県、JA）

### 【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・ハーベスタ収穫作業以外の管理作業に関して、新たな機器などの実演会等を行い、作業の効率性を周知する。
- ・農業大学校が実施する農業機械士養成研修をとおして農業機械士等オペレータの育成を図る。
- ・市町村、農業委員会、農地中間管理機構が連携して農地の集約や整備に向けた協力、支援を行う。
- ・地域計画と連動した耕作放棄地解消関連事業の実施

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・北部広域的な受託組織の育成と農作業の受委託斡旋の体制の構築
  - ・地域計画に基づき、市町村、農業委員会、JA、生産組合等と連携し、担い手への農地の集約、整備を進める。
- R17目標値：認定農業者 17戸

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### I 経営基盤の強化

#### ② 農業保険の加入促進

##### 【現状】

- ・台風、干ばつ等の気象災害が多発する本県において、さとうきび生産農家の経営安定を図るため、農業共済団体、市町村等関係機関と連携し、農業共済制度の普及・啓発、加入促進を図っているが、農家には制度に対する認識不足があると思われ、理解促進が必要である。
- ・干ばつや台風等の被害が発生しやすい地域であることから、農業保険へ加入し農業経営の安定を図る必要がある。しかしながら、さとうきび農家の高齢化や零細経営であり、共済加入の認識が低い。
- ・イノシシによる被害が増加してきている
- ・OCR調査時に農業保険の説明を行い、加入促進を図っている。

##### 【畑作物共済加入状況】

	H26	R元	R6
加入戸数（戸）	597	658	360
戸数引受率（％）	38.7	42.1	29.4
引受面積（ha）	438.0	634.0	345.0
面積引受率（％）	44.7	41.4	26.3

【課題】

- ・担い手農家の高齢化等による離農・規模縮小のため、共済加入の重要性についての関心が薄い。
- ・農家によっては共済制度に対する理解が十分でなく、一層の制度周知が必要。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・共済制度や収入保険のパンフレット作製、各種会議におけるPR（共済組合）
- ・OCR調査や栽培講習会などにおいて加入啓発の実施（共済組合、JA、地区さとうきび協議会、県、市町村）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・OCR調査時に、関係機関連携して制度の理解を深めるための説明を今後とも継続し加入率向上に取り組む。
- ・共済制度や収入保険のパンフレット作製、各種会議におけるPR

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・農業共済のパンフレットの活用や気象災害等について周知し、共済加入率向上に取り組む。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

① 気象災害に強い生産基盤の整備

【現状】

- ・かんがい施設の整備率が低いことから、干ばつ害が発生しやすく単収が低い傾向がある。
- ・山間地で傾斜地で、狭隘な圃場が多く、農地の整備や集積が進んでいない未整備な圃場が多い
- ・台風被害による影響を減らし、安定した生産量を確保するため、防風林の保全、整備

<農業基盤整備の状況>

ほ場整備率：51.5% (59.3%)

かんがい施設整備率：40.3% (47.0%)

水源整備率：43.2% (48.6%)

防風施設整備率：30.5% (30.6%)

※平成26年度までの実績見込み

※R4迄実績見込み

<農業基盤整備の目標（R6年度）>

農地基盤整備：60.3%

畑地灌漑整備：56.7%

水源整備率：62.5%

防風施設整備：40.6%

【課題】

- ・畑地かんがいの施設未整備地区では、干ばつ被害が甚大になり、被害地域の単収は低い。
- ・山間地の傾斜地で、狭隘なほ場が多く、農地整備や集積が進んでいない地域がある。
- ・農業用水資源の絶対量が少なく、かん水できない状況がある

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・農地の農業基盤整備や畑地かんがい整備の進んでいない地域もあり、整備が計画的に推進できるように関係機関とも連携して進めるとともに、効果的なかん水方法の普及啓発を図る。（市町村、県、地区さとうきび協議会、JA）
- ・干ばつ対策会議の設置・開催（市町村、地区さとうきび協議会、普及、農家）
- ・セーフティネット事業による、干ばつ、台風被害対策の助成（地区さとうきび協議会）
- ・防風・防潮林の整備（市町村、県）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・普及広報誌を活用した、かん水効果のPRとかん水機器、施設利用の促進
- ・防風林の日の啓もう活動

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・計画的な基盤整備、畑地かんがい整備の推進、実施
- ・かん水施設の利用促進や防風林の日のPRの継続
- ・防風林や防潮林の整備の継続した推進

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### 2 生産基盤の強化

#### ② 機械化一貫体系の確立

##### 【現状】

- ・ さとうきび生産農家の高齢化や担い手不足により、手刈り収穫が減少し、ハーベスタを用いた収穫機械の導入、利用が進んでいる。
- ・ 担い手や収穫以外の受託者の育成および機械化の推進が必要であるが、担い手は減少し植付け及び肥培管理作業のための受託組織やオペレータは不足している。
- ・ ハーベスタ老朽化への対応と、受益地区制限により、地区を超える効率的な収穫協力が難しい

##### < 農業機械整備台数等の推移 >

##### ハーベスタ

	H27	R元	R6
稼働台数	44	38	55
収穫面積 (ha)	802	683	631
収穫率 (%)	80.4	86.2	92.2

##### 【課題】

- ・ ハーベスタオペレータと株出管理等のオペレータが同一の場合、収穫優先となり株出し管理作業が遅れてしまう。
- ・ ハーベスタ老朽化への対応と、受益地区制限による効率的な収穫協力が難しい
- ・ 担い手不足のため、収穫以外の受託組織の育成・確保と、受託者の収益確保が難しい

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・植付けの機械化として、ビレットプランタによる植付け実演会の開催（地区さとうきび協議会、JA、普及課）
- ・オペレータ育成に向けた研修への支援（県、農業機械士協議会、地区さとうきび協議会、JA）
- ・収穫以外の受託組織の育成、確保（JA、地区さとうきび協議会）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・株出し管理が不十分な圃場があることから、株出し管理実演会の開催。
- ・ビレットプランタによる植付け実演会を行っていく。
- ・収穫以外の受託作業者の育成、確保と、作業収益確保のための仕組みの検討
- ・国の補助事業を活用し、ハーベスタ等農業機械の導入（恩納村においてハーベスタ1台導入予定）

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・受益地区制限を踏まえた計画的収穫機更新計画と、本島北部地域全体での収穫と植付け管理の受委託体制の検討
- ・収穫作業以外の受託体制の検討、整備
- ・株出管理等の作業面積の拡大

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### 2 生産基盤の強化

#### ③ 地力の増進

##### 【現状】

- ・北部地域は、酸性で養分保持力の乏しい国頭マージが多く分布しており、有機物含量が少ない。
- ・化学肥料の高騰と前作の低収による経費不足などにより、施肥が十分されないことがある
- ・ゆがふ製糖では、堆肥業者を通してバガスも原料とした堆肥を安価で提供している。
- ・ロータリー耕や、ハーベスタ、トラクタ等の転圧により硬盤層が生じやすい。

##### 【課題】

- ・ハーベスタ収穫が進展する中、有機物の還元が少なくなりやすい。
- ・大量の有機物の散布には大きな労力がかかるため、特に高齢農家では散布手段がなく、施用できる機会に限られる。
- ・収益の低下で、土づくりへの意識が低下している。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・堆肥など有機物投入補助による、地力向上の推進（製糖工場、地域さとうきび協議会、市町村）。
- ・土づくりに関する栽培講習会の実施（普及、地域さとうきび協議会、JA）
- ・心土破碎や深耕の普及推進、簡易な土壌診断の実施と土壌改良指導（普及、地域さとうきび協議会）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・堆肥や緑肥等投入効果に対する展示圃の設置
- ・製糖工場からのバガス等の原料とした堆肥の活用促進
- ・土づくりに関する栽培講習会の実施

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・継続的な有機物投入方法の整備と、土づくりの推進に向けた仕組みづくり
- ・心土破碎機による硬盤層破碎と排水性向上の推進
- ・製糖工場副産物（バガス、糖蜜等）の利用促進

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### 3 技術対策

#### ① 病虫害防除

##### 【現状】

- ・イノシシ等の獣害に対して、防護柵の設置や駆除など対策を進めているが、生息域が広がりつつある。
- ・ガイダーについては、発生予察等を参考に共同防除に取り組み、被害の低減を行っている。
- ・シロスジオサゾウムシの防除対策確立に支援を行っている
- ・管理不足から防除対策の遅れのある圃場が散見される。
- ・一部地域では、黒穂病がみられている。

##### 【課題】

- ・害虫防除時期の周知及び指導による病虫害発生防止の推進
- ・イノシシ害の深刻化、対策の拡充と推進
- ・地域による黒穂病の発生

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ ガイダーについては、発生予察等を参考に共同防除に取り組み被害の低減を行っている。（地区さとうきび協議会、県）
- ・ 農家に対して講習会や圃場巡回時に、病虫害防除の徹底を指導（普及、地区さとうきび協議会、JA）
- ・ イノシシ防護柵の設置、駆除、捕獲わなの設置を推進。（市町村、鳥獣害対策協議会）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・ イノシシの生息域が拡大し、北部全域に広がりつつあることから、関係機関連携して対策の強化に取り組む。
- ・ 病虫害の多発時における、情報共有と早期対策の実施
- ・ 黒穂病の多発地域においては耐病性品種の導入、普及を行う
- ・ 除草剤展示圃の実施

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ ほ場巡回、発生予察情報等により発生状況を確認し、初期からの防除の徹底について引き続き指導を行う。
- ・ 共同防除に関しては、受委託を含め、効率的な推進体制について防除協議会で検討していく
- ・ 各地域の鳥獣害対策協議会と連携する
- ・ 生育初期の土壌処理除草剤の利用による雑草対策指導の強化

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

### 3 技術対策

#### ② 台風・干ばつ対策

##### 【現状】

- ・ 台風の襲来時には、暴風により茎の折損、倒伏や葉の裂傷が発生し、生育、収量に影響が出る。
- ・ 耐風性の低い品種に偏ると収量への被害が大きくなる。
- ・ 台風の暴風後に雨が少ないと、潮風による塩分で葉が枯れ上がる塩害が顕著に発生する。
- ・ 少雨傾向や干ばつ傾向になると、かんがい施設未整備地区では、被害が拡大する。
- ・ 農家の高齢化により、水タンクの準備やホースを引っ張るなどのかん水作業は難しくなっている

##### 【課題】

- ・ 台風による茎の折損や倒伏防止の対策
- ・ 品種（台風被害の出やすい品種）への偏り
- ・ 干ばつ時におけるかんがい施設の利用促進と、未整備地区での対策

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・かん水効果の周知とかんがい施設利用促進の検討（普及、地域サトウキビ協議会、JA、市町村）
- ・品種を分散した計画的な植付け（農家、地域サトウキビ協議会、市町村）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・台風対策や干ばつ対策を栽培講習会や圃場巡回時に農家へ直接呼びかける。
- ・講習会、チラシなどにおける品種特性情報の提示

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・耐風性品種の導入検討と普及
- ・深植えや培土による倒伏対策展示圃の実施

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

—

## 目標達成に向けた取組計画

### 3 技術対策

#### ③ 優良品種の選択・普及

##### 【現状】

- ・地域の単収は沖縄県で一番低く、4 t程度で、株出しが78%を占める
- ・「F177」から「NiF8」に変遷したが、現在は漸減傾向である。
- ・労力等の理由で、新植が難しい状況のため、品種の更新は緩慢である。
- ・一部地域では、黒穂病の発生がみられている

	合計面積 (ha)					
	NiF8	Ni17	Ni27	Ni28	Ni29	その他
H27	320	83	29	64	63	440
H28	318	64	47	102	69	357
H29	290	55	67	135	87	329
H30	240	45	91	153	106	269
R元	200	36	85	147	100	224
R2	175	25	94	146	127	217
R3	175	24	92	133	153	214
R4	151	18	86	138	174	189
R5	135	-	91	146	171	173
R6	119	-	44	107	172	243

##### 【課題】

- ・北部地域に適した品種の検討及び普及の推進。
- ・株出が多いことから、品種の更新が進みにくい。
- ・地域の平均収量が低く、安定収量を得やすい品種が少ない。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・地域に適應する品種比較展示ほの設置（地域さとうきび協議会、普及、製糖工場、JA）
- ・株出多収の品種、黒穂病抵抗性品種の普及拡大の推進（普及、地域さとうきび協議会、製糖工場、JA）
- ・優良種苗の増殖、配布（地域さとうきび協議会、市町村）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・多収の期待できる新品種もあるので、普及に向けて今後も取り組みを継続する。
- ・新品種、栽培技術に対する理解を深めるための栽培講習会の実施
- ・優良種苗の計画的な導入、増殖と配布

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・品種特性を発揮する栽培技術の普及
- ・新たに北部地域に向けた多収性新品種の普及展開

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア要望等

—

重点課題における関係者の役割分担と実施状況 ※令和7年度に3期目計画を立てる際は、右側の「今年度の具体的な取組計画」のみ記入。

重点項目： 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
市町村					農家の栽培状況の確認	地域での栽培の現状把握
北部普及課					農業機械士育成支援	きびオペレータへの斡旋
JA					作業受委託の推進	適期作業への推進
ゆがふ製糖工場					その他地域の栽培状況の提供	栽培状況の共有
北部きび協					ピレットプラント等の実演会	機械化の推進

重点項目： 地力の増進

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
市町村					講習会や展示圃の支援	栽培状況の共有
北部普及課					講習会の実施	土づくり効果の周知
JA					有機物の活用支援	農家への呼びかけ
ゆがふ製糖工場					堆肥原料の提供	バガス堆肥利用の推進
北部きび協					堆肥展示圃の実施	堆肥効果の農家への周知

重点項目：優良品種の選択・普及

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
市町村					展示圃や講習会の支援	品種特性の共有
北部普及課					品種講習会の開催	地域の適した品種の選定・普及
JA					品種の活用支援	有望品種活用の呼びかけ
ゆがふ製糖工場					現地適応品種比較展示圃設置	地域の適した品種の選定
北部きび協					品種展示圃の実施	地域に適した品種の普及

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—

(参考情報①)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

本地域は、沖縄本島の北部に位置し、国頭村・大宜味村・東村・名護市・今帰仁村・本部町・恩納村・宜野座村・金武町の1市2町6村からなっている。地域の気象は年平均気温22.6℃、年平均降水量2,018mmとなっている。農業は、畑作ではさとうきび、野菜、花き等が主要作物となっているが、本島の他地域とは異なって水稲や酸性土壌を活かした柑橘類、パイナップル、茶等の栽培も行われている。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状	酸性の国頭マージが広く分布しており、地力が乏しい。地形的にも山間地で傾斜地が多く、農地の整備や集積は進んでいない。栽培農家数や栽培面積は減少傾向である。農家の高齢化による労働力不足や、気象災害等で、生産維持への負担が大きい。収穫は90%程度がハーベスタ収穫で、機械収穫体系は進んでいるが、植付けや栽培管理への作業受委託は進んでいない。
-------	---

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稲	野菜	飼料作物	その他
H17	5,519	—	502	1,360	44	120	901	396	472
H18	5,467	—	—	1,363	50	119	596	—	—
H19	5,444	—	—	1,332	—	116	597	—	—
H20	5,438	—	—	1,299	—	126	576	—	320
H21	5,526	—	—	1,333	—	124	616	—	309
H22	5,634	—	431	1,348	—	128	582	—	246
H23	5,625	—	—	1,269	—	138	566	—	195
H24	5,613	—	—	1,191	—	126	582	—	122
H25	5,602	—	—	1,104	—	131	—	—	—
H26	5,541	—	—	1,095	—	132	—	—	—
H27	5,519	—	386	998	—	123	—	—	—
H28	5,382	—	—	956	—	126	—	—	—
H29	5,314	—	—	963	—	118	—	—	—
H30	5,376	—	—	904	—	112	—	—	—
R元	5,248	—	—	792	—	105	—	—	—
R2	5,015	—	—	784	—	98	—	—	—
R3	4,854	—	—	791	—	102	—	—	—
R4	4,792	—	—	756	—	98	—	—	—
R5	4,782	—	—	716	—	83	—	—	—
R6	4,680	—	—	685	—	—	—	—	—

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	124	244	847	1215	4.8	3.9	4.7	4.5	6,008	9,713	39,924	55,645	13.9
H18	146	254	839	1239	6	4.2	5.2	5.1	8,811	10,787	43,652	63,250	14.1
H19	124	257	867	1248	6.2	3.9	4.7	4.7	7,764	10,280	41,428	59,472	14.6
H20	83	266	874	1223	7.9	5.4	6.3	6.2	6,605	14,630	55,088	76,323	14.7
H21	76	258	926	1260	6.3	4	4.7	4.7	4,866	10,547	43,805	59,218	14.5
H22	74	311	885	1270	5.8	3.6	3.7	3.8	4,307	11,323	33,578	49,208	13.8
H23	78	273	822	1173	3.4	2.7	2.9	2.9	2,706	7,509	24,012	34,227	14
H24	95	297	725	1117	3.6	2.2	2.8	2.7	3,463	6,724	20,283	30,470	12.5
H25	74	124	789	987	4.1	3.2	3.7	3.6	3,041	3,993	29,305	36,339	14.3
H26	117	229	672	1018	4.5	3.1	3.2	3.4	5,371	7,136	22,143	34,650	14.5
H27	70	190	739	999	5.4	3.9	4.1	4.1	3,778	7,503	30,499	41,780	13.6
H28	66	153	738	957	6.9	5.1	5.2	5.3	4,592	7,817	38,752	51,161	14.3
H29	58	158	747	963	5.2	3.9	4.3	4.3	3,012	6,190	32,223	41,425	13.7
H30	42	155	707	904	5.8	3.5	4	4	2,450	5,502	28,554	36,506	13
R元	40	96	626	762	4.7	3.3	3.5	3.5	1,907	3,259	23,191	28,357	14.5
R2	54	144	586	784	5.6	3.5	4.1	4.1	3,052	5,073	24,166	32,291	14.3
R3	56	133	603	792	4.5	3.9	4	4	2,547	5,311	24,519	32,377	14.5
R4	44	106	606	756	5.5	3.4	3.6	3.7	2,445	3,601	22,315	28,361	13.4
R5	35	112	569	716	4.9	3.1	3.3	3.3	1,739	3,492	18,798	24,029	14.3
R6	44	109	532	685	5.9	4.1	4.3	4.4	2,598	4,503	23,252	30,353	13.9

(参考情報②)

【年齢階層別農家戸数】

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
H17							0
H18							0
H19	6	61	130	379	691		1267
H20	4	55	141	365	754		1319
H21	6	47	154	381	853		1441
H22	8	49	146	372	933		1508
H23	12	52	147	381	988		1580
H24	9	52	144	362	1074		1641
H25	8	44	133	313	1051		1549
H26	8	40	112	291	1049		1500
H27	11	55	159	354	644	674	1897
H28	10	51	156	317	677	646	1857
H29	10	58	142	271	659	599	1739
H30	5	48	119	211	543	495	1421
R元	8	42	105	198	500	504	1357
R2	11	40	100	197	450	548	1346
R3	13	34	100	187	433	591	1358
R4	13	27	98	172	406	631	1347
R5	8	26	83	173	369	655	1314
R6	6	27	84	160	348	671	1296

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100～300a 未満	300～500a 未満	500a以上	合計
H17	1,780	283	25	6	2094
H18	1,706	285	23	10	2024
H19	1,689	300	23	8	2020
H20	1,547	315	32	7	1901
H21	1,509	344	29	13	1895
H22	1,493	313	34	12	1852
H23	1,468	286	24	10	1788
H24	1,373	281	55	4	1713
H25	1,281	245	23	6	1555
H26	1,267	251	23	4	1545
H27	1,195	255	23	8	1481
H28	831	380	128	78	1417
H29	1,035	258	26	10	1329
H30	970	229	21	9	1229
R元	855	204	25	7	1091
R2	783	189	23	7	1002
R3	751	201	24	11	987
R4	735	186	17	12	950
R5	687	190	16	14	907
R6	608	185	20	12	825

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
H17	43.1	65.0	12.2	8.3
H18	51.7	69.0	12.4	8.9
H19	49.2	73.0	12.8	8.8
H20	60.6	85.0	12.8	8.4
H21	48.0	78.0	12.1	10.3
H22	41.7	73.0	11.9	10.0
H23	25.1	60.0	11.6	11.3
H24	24.0	55.0	11.0	10.0
H25	26.8	70.0	11.7	10.4
H26	32.9	63.0	12.3	11.6
H27	74.6	109.0	11.0	9.5
H28	83.5	122.0	12.1	9.8
H29	71.3	105.0	11.8	10.2
H30	60.2	100.0	10.9	11.2
R元	50.4	89.0	12.0	10.8
R2	59.6	92.0	12.0	10.2
R3	58.0	94.0	12.0	11.3
R4	56.1	90.0	12.1	10.8
R5	46.6	88.0	11.9	7.7
R6	54.2	87.0	12.3	11.4

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	11	11		有	さとうきび生産組合	さとうきび生産に係る担い手育成および生産振興

【作業委託料金】

作業名	料金(10a)	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	5093円	全市町村	—
植付	36,000～7,500円	金武町36,000円、国頭村・大宜味村・今帰仁村・本部町21,000円、名護市・恩納村12,000円、東村9,000円、宜野座村7,500円	—
株出管理	10,500～6,000円	金武町10,500円、大宜味村・東村・名護市・今帰仁村・本部町・恩納村9,000円、国頭村7,500円、宜野座村6,000円	—
防除	13,000円	宜野座村のみ13,000円	—
その他	7,500～4,500円	名護市(羽地、名護)7,500円、国頭村・大宜味村・東村・恩納村・宜野座村6,000円、名護市(久志)・本部町4,500円	中耕培土

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	—	42.10%	—	基本料金 名護市 4,000円/10a 今帰仁村 6,000円/10a  使用料（今帰仁村） 21円/トン	受益地区内のみで の水使用に限る	—
	ダム	羽地ダム、真喜屋 ダム		—			—
	ため池	—		—			—
	その他	—		—			—

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	1,469	867	903	903	903	903	903
加入戸数	597	237	247	341	341	341	350
戸数引受率 (%)	40.6	24.9	27.3	37.7	37.7	37.7	37.7
対象面積 (ha)	1011	712	750	750	750	750	750
引受面積 (ha)	438	180	186	321	321	321	321
面積引受率 (%)	43.3	25	24.8	42.8	42.8	42.8	42.8
支払金額 (千円)	27,423	—	—	—	—	—	—

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	1166	867	903	903	903	903	903
加入戸数	8	12	12	12	12	15	15
引受面積	22	30	30	30	30	45	50
面積加入率	2	5	5	5	5	10	10

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	10%	20%	70%
H18	12%	21%	68%
H19	10%	21%	69%
H20	7%	22%	71%
H21	6%	20%	73%
H22	6%	24%	70%
H23	7%	23%	70%
H24	9%	27%	65%
H25	7%	13%	80%
H26	11%	22%	66%
H27	7%	19%	74%
H28	7%	16%	77%
H29	6%	16%	78%
H30	5%	17%	78%
R元	5%	13%	82%
R2	7%	18%	75%
R3	7%	17%	76%
R4	6%	14%	80%
R5	5%	16%	79%
R6	6%	16%	78%
R17(目標)	13%	14%	74%

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)								平均回数
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回		
H17	323	260	137	73	25	15	13		2.19
H18	279	258	167	76	30	15	18		2.33
H19	299	264	196	65	22	8	14		2.22
H20	283	216	197	128	29	8	12		2.40
H21	284	277	181	110	50	14	9		2.40
H22	277	260	170	87	37	33	22		2.47
H23	317	213	130	73	31	24	35		2.39
H24	268	190	114	58	37	17	40		2.47
H25	350	199	115	47	27	18	33		2.22
H26	200	221	123	57	25	14	31		2.48
H27	298	158	143	70	32	12	27		2.36
H28	227	235	99	74	48	31	23		2.55
H29	198	211	175	56	45	29	32		2.67
H30	199	172	133	94	34	29	46		2.81
R元	167	154	133	88	52	18	44		2.90
R2	122	128	110	88	52	35	51		3.22
R3	167	115	100	74	50	34	62		3.12
R4	180	148	72	62	40	35	68		3.02
R5	150	136	100	51	39	23	69		3.07
R6	145	112	95	67	30	22	60		3.06
R17	115	115	100	90	85	40			3.06

(参考情報⑦)

【近年の品種別作付面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計					
	NiF8	Ni17	Ni27	Ni28	Ni29	その他	NiF8	Ni17	Ni27	Ni28	Ni29	その他	NiF8	Ni17	Ni27	Ni28	Ni29	その他	NiF8	Ni17	Ni27	Ni28	Ni29	その他
H17	39	-	-	-	-	85	104	4	-	-	-	136	416	1	-	-	-	430	559	6	-	-	-	649
H18	60	2	-	-	-	84	125	20	-	-	-	108	384	10	-	-	-	445	570	33	-	-	-	636
H19	53	9	-	-	-	62	112	51	-	-	-	94	410	50	-	-	-	407	575	111	-	-	-	563
H20	38	9	-	-	-	36	119	9	-	-	-	105	408	88	-	-	-	378	565	139	-	-	-	519
H21	32	15	-	-	-	29	102	38	-	-	-	118	437	116	-	-	-	373	571	170	-	-	-	519
H22	30	9	-	-	-	35	135	42	-	-	-	134	384	132	-	-	-	369	549	183	-	-	-	538
H23	32	11	-	-	-	35	129	33	-	-	-	111	340	142	-	-	-	340	500	186	-	-	-	488
H24	32	9	-	-	-	54	128	31	-	-	-	138	322	98	-	-	-	305	482	138	-	-	-	497
H25	38	10	1	0	1	24	56	12	1	2	2	51	368	74	3	3	2	339	462	96	5	5	5	414
H26	47	9	3	3	6	49	77	14	6	17	8	107	314	75	4	6	5	268	438	98	13	26	19	424
H27	17	4	4	8	9	28	45	9	12	28	23	73	258	70	13	28	31	339	320	83	29	64	63	440
H28	18	2	5	12	11	18	33	7	18	35	18	42	267	55	24	55	40	297	318	64	47	102	69	357
H29	16	3	5	7	9	18	36	5	24	36	18	39	238	47	38	92	60	272	290	55	67	135	87	329
H30	13	1	6	4	9	9	31	4	24	36	25	35	196	40	61	113	72	225	240	45	91	153	106	269
R元	14	1	3	5	6	11	23	3	13	16	22	19	163	32	69	126	72	194	200	36	85	147	100	224
R2	15	1	6	6	17	9	33	2	23	30	24	32	127	22	65	110	86	176	175	25	94	146	127	217
R3	16	1	6	9	14	10	25	3	20	17	36	32	134	20	66	107	103	172	175	24	92	133	153	214
R4	15	1	2	7	12	7	21	2	12	15	35	21	115	15	72	116	127	161	151	18	86	138	174	189
R5	6	-	4	9	13	3	22	-	14	25	29	22	107	-	73	112	129	148	135	-	91	146	171	173
R6	9	-	3	4	18	10	15	-	6	18	26	44	95	-	35	85	128	189	119	-	44	107	172	243